



パナ傘下のブルーヨンダー、米ワンネットワークを買収へ 1270億円



Miho Uranaka

[東京 29日 ロイター] -

パナソニック ホールディングス傘下のパナソニックコネクトは29日、サプライチェーン（供給網）を最適化するソフトウェアを手掛ける米子会社ブルーヨンダー（BY）が同業の米ワンネットワーク（テキサス州）を買収すると発表した。買収額は8億3900万ドル（約1270億円）。

ワンネットは2002年に創業。提供するプラットフォームでは、参加企業が需要・供給、売買、物流や在庫といったデータをリアルタイムで共有できる。顧客企業の取引先などを含めると15万社がネットに参加している。過去3年間の平均売上高は年率約16%成長している。

コネクトの樋口泰行最高経営責任者（CEO）は会見で、BYのシステムを導入する3000社以上の企業に対してもワンネットのプラットフォームを提供することで、ネットワークへの「参加企業数は指數関数的に増え、供給網で可視化できる部分も大きく広がる」と説明。今回の買収について「今までの投資とは異なる圧倒的なゲームチェンジャーとなる」と述べた。

パナソニックコネクトは20-21年にかけてBYを総額約79億ドル（当時換算レート約8600億円）で買収した。BYは昨年物流システム開発の英ドドルを買収するなどし、（23年度からの）3年間で2億ドルを戦略投資に充てるとしていた。

今回の買収資金についてはコネクトでキャッシュフローが創出できているとし、「我々の中で資金をしつかり回していく」（コネクト幹部）という。必要な審査を経て、24年度第2四半期（7-9月）をめどに買収を完了する予定。